

指定管理者モニタリングレポート（令和7年度）

作成日 令和8年6月8日

施 設 名	みのかも健康の森	
所 在 地	美濃加茂市山之上町7559番地	
指 定 管 理 者	名 称 可茂森林組合 代表者 代表理事組合長 可児 登 住 所 加茂郡七宗町神淵9756番地1	
指定期間・選定方法	令和3年4月1日から令和8年3月31日	公募・非公募（任意指定）
モニタリングの実施方法等	○運営経費の支出状況や収入状況、金銭管理等の確認 ○管理運営の手法や運営理念の確認 ○現地事務所にて帳簿確認や聴き取りにより実施	
担 当 課 （問合せ先）	産業振興部 農林課	

モニタリングの総合結果及び業務改善に向けた方針

○前年度の来園者数 79,043 人に対し、今年度は 71,049 人（-7,994 人）と減少した。主に、春季に開催したイベント時の来園者の大幅の減少、夏季の高気温による外出制限および冬季の大雪等の気象影響、下半期の来園促進のための新規企画の未実施等が挙げられる。

今後、継続開催する企画だけではなく、新規企画を実施し、シーズン毎に新たな顧客および安定した集客を確保する必要がある。

○収支については、2,363 千円赤字となった。コロナ期から減少した来園者数はコロナ前の水準に戻っている。ここ数年の人件費増加による支出増が赤字の一番の要因である。指定管理者とシフトの見直し等により人件費を抑えている事や、食堂、BBQ等売上は安定的な確保。また、市内幼稚園への営業活動等、赤字解消に向け善処している。市として、条例で定められている施設の利用料等を物価高騰等に対応し見直しを検討していく必要がある。

①経営分析に関すること

○来園者はここ数年年間7万人を超え、安定しているが、赤字経営が継続している。メイン収入である、バーベキュー事業および食堂事業では安定的な収入があるものの、稼働率の向上、営業形態の見直しにより、より安定的な収入を確保する必要がある。

○低コストで新規行事を実施している。今後も、新規行事を積極的に展開し、新たな顧客層の確保が重要である。

②事業計画・実施事業に関すること

- 行事終了後には、関係者と事業実施において気が付いた点、改善した方が良い点などを洗い出し、翌年度の開催に向けよりよい事業を実施できるよう心掛けていた。
- BBQ 施設で使用する炭・薪ストーブには、園内や市内で伐採された不要木や間伐材を使用するなど、経費の削減に努めるとともに環境にも配慮していた。
- 新規行事(モルック大会)の開催を実施、新たな顧客層の確保に努めた。

③経理に関すること

- 支払い先の取引銀行と同じ銀行(農協、十六銀行)に口座を設け、適切に使い分けることで、支払い手数料の軽減に取り組んでいた。
- 簿記に精通したものが経理を担当しており、適正に帳簿等の管理がされている。
- 支出は、請求書とともに支出命令簿を作成し、園長及び森林組合が確認している。
- 金庫・レジの現金・鍵の管理は、適正に行われている。
- 指定管理業務と自主事業の会計を明確に分けている。

④施設管理に関すること

- 施設内の日々の見回りにより常時遊具等の状況を把握し、必要に応じてその都度整備・修繕を行っていた。また、緊急の場合には即時に市担当担当者へ連絡がなされていた。
- 軽微な修繕等を積極的に実施する等、適正に施設を維持管理する姿勢がみられた。
- 施設の鍵を複数のものが所持することにより、緊急時に対応できるよう配慮していた。
- 閉園時の駐車場利用者への対応として、園内放送・検索を行い、所有者が現れない場合は、連絡先を明記した張り紙をするなど、適切に管理していた。
- 消防訓練・避難訓練・救命講習を実施し、利用者の安全確保に努めていた。

⑤サービスに関すること

- 来園者に事故があった場合などには、状況を的確に判断し誠実に対応し、対処後市へ事故報告を書面で行い、注意関係の掲示を設置するなどの善後策を取る体制が整えられていた。
- 園内の職員で対処できない問題については、組合・市に相談し対処する体制が整えられていた。
- 職員および作業員全員が来園者への基本的な接客対応(挨拶等)を確実に行之、来園者の満足度の向上に繋がっている。

⑥その他

- 情報発信は、HP への掲載、農林課から広報・記者クラブへの情報提供、管理棟内の掲示板に加え、SNS 等を活用し幅広い広報活動を行っている。
- 森林空間を活用した自然観察会等の行事を継続して実施しているが、更に森林空間を活用した行事企画をしていく必要がある。

指定管理者 期末モニタリング チェックリスト(令和7年度)

総合評価	B
------	---

実施日 令和8年 6 月 4 日
担当課 産業振興部 農林課

対象施設	みのかも健康の森	選定方法	公募 ~~・非公募~~ (任意指定)
設置目的	保全、保健機能の発揮される森林の整備、市民の自然保護意識の高揚及び教育文化の向上		
指定管理者名	可茂森林組合	指定期間	R3. 4. 1 ~ R8. 3. 31

総括	B	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	評価
① 経営 分 析	事業収支(円)	-3,167 千円	-3,836 千円	-1,688 千円	-2,088 千円	-2,363 千円	C
	利用料金比率(%)	7.7	13.9	14.7	12.3	12.1	C
	自主事業収入比率(%)	29.5	30.5	32.1	35.3	34.7	B
	人件費比率(%)	66.7	67.0	68.7	65.1	68.4	A
	外部委託費比率(%)	1.04	1.15	1.70	1.59	1.41	A
	利用者1人当たりの 管理運営コスト(円)	519.7	415.9	400.7	354.4	415.9	B
	利用者1人当たりの 市負担コスト(円)	943.81	363.81	401.4	276.0	524.2	B
	施設1㎡当たりの 利用者数(人)	46	63	64	74	67	B

※上記の経営分析については、過去の実績や類似施設と比較して評価する(優良:A、良好:B、問題有:C、要改善:D)

②実施事業に関すること		総括	B	一次 評価	評価理由等
1	施設の設置目的に沿った事業を実施したか。目標を達成したか			B	設置目的に沿った、事業は実施していたが、目標来園者数は未達であった。
2	収支計画との整合性はあったか			C	収支計画は適切であったが、収支は赤字だった。
3	開館時間、休館日は適正に守られていたか			B	適正に実行されている。
4	資格者の人員配置など職員体制が適正に整えられていたか			A	有資格者の人員配置などが基準より高い水準で整っていた
5	公共性・公平性が保たれていたか			B	特例がなく公共性・公平性が保たれている。
6	改善指示事項や要望が事業に反映されていたか			B	利用者からアンケートを取り、ソフト面は早急に対応し、ハード面を市に上申をしている。
7	自主事業は適正に実施されていたか			B	来園者数は減少したものの、新規イベント企画等、来園者増加に向け取り組む姿勢は見受けられた。

③経理に関すること		総括	B	一次評価	評価理由等
1	指定管理業務に係る固有の銀行口座が適正に管理されていたか			B	固有の口座があり適正に管理されている。
2	協定に基づいた支出が適正に行われたか			B	適正に行われている。
3	指定管理業務と自主事業の会計が明確に区分して管理されていたか			B	前年度までの改善指示に対応し、指定管理業務と自主事業の会計が明確に区分けされている。
4	帳簿が適正に記載・管理されていたか			B	帳簿は適正に管理されている。
5	帳簿を適正に記載・管理する体制が整えられていたか			B	体制が整えられている。
6	現金は適正に管理されていたか			B	金庫に適切に保管され適宜口座入金している。

④施設管理に関すること		総括	B	一次評価	評価理由等
1	保守点検・検査・修繕は適正に実施されたか			B	職員による目視、専門業者による検査を適正に実施している。
2	清掃は確実に行われたか			A	毎日実施しており、屋外の落葉清掃、剪定、水路世相も含め広大な園内を確実に管理している。
3	マスターキー等の管理体制は十分であったか			B	事務所で適正に管理されている。
4	緊急時の連絡体制は整えられていたか			B	緊急連絡網が整備されている。
5	避難経路の安全性は確保されていたか			B	避難経路には備品等の放置がされておらず、避難訓練も実施している。
6	備品は適切に管理されていたか			B	適正に管理されている。
7	駐車場の保全・管理、施設の警備等は適切に行われていたか			B	毎日の見回りを行っている。

⑤サービスに関すること		総括	B	一次評価	評価理由等
1	利用時間の延長など具体的にサービス向上や稼働率等の向上に取り組んだか			B	季節ごとに利用時間を変更している。
2	苦情等の処理は適正かつ迅速に行われたか			A	苦情が1件もないため、日常管理が適正に行われている。
3	苦情等の処理に関する書類は適正に整備・管理されていたか			B	令和7年度は苦情等は無かったが、過去の苦情処理の記録は適正に整備・管理されている。
4	ホームページ等でのPRは適正に行われたか			A	SNSを活用した、PR活動を積極的に実施している。
5	セルフモニタリングは適正に行われたか			B	アンケート調査を実施していた。
6	利用者アンケートの結果をサービスの向上にいかしたか			B	利用者のアンケート結果に基づき、可能な限りサービス向上に活かしている。
7	サービス向上のために職員研修等を実施したか。接客態度に問題はなかったか			B	接客対応について問題はなかった。
8	経費縮減・費用対効果の向上(費用の最小化)を図る取組みを実施したか			A	人件費が増加する中で、支出部分を最小限に抑え、新規事業等を企画していた。

⑥その他		総括	B	一次評価	評価理由等
1	施設の管理に係る情報の管理や情報公開は適正に行われたか			B	市広報及び SNS 等通じ、適正に行った。
を	個人情報 that 適正に利用・管理されていたか			B	適正に管理され、目的外には利用されていない。
3	環境に配慮した事業を推進したか			A	管理棟の薪ストーブ等は森林整備で発生した伐木を利用している。
4	業務実施に必要な保険に加入していたか			B	加入している。
5	利用者及び職員の安全管理に関する体制・仕組みが適切に整えられていたか			B	消防訓練、遊具点検等が適切に行われている。
6	労働法令を遵守し、雇用・労働条件への適切な配慮がされていたか			B	適切に対応されていた。
7	地域との連携・協働は図られたか。まちづくりに配慮した事業を推進したか			B	地域住民と周辺の整備事業を実施していた。
8	市と連絡を密にしていたか			B	連絡網を整備し、市と連絡体制が取れていた。

●経営分析の指標と評価の考え方

評価指標	計算方法	評価の考え方
◆事業収支(円)	収入－支出 ※自主事業収支を含む	事業全体が黒字であるかを確認し、経営努力を評価する。赤字の場合、管理継続性の面で課題となるため、市及び指定管理者で黒字転換に向けた協議が必要である。
◆利用料金比率(%)	利用料金収入／収入×100	収入に占める利用料金の割合。指定管理者の主たる収入源がどこにあり、それが安定したものであるかを評価する。
◆自主事業収入比率(%)	自主事業収入／収入×100	収入に占める自主事業収入の割合。指定管理料のみに依存していないか、収入増加に努めているかなどを評価する。
◆人件費比率(%)	人件費／支出×100	支出に占める人件費の割合。支出の中で人件費が高すぎないか、抑制しすぎているかを評価する。
◆外部委託比率(%)	外部委託費合計／支出×100	支出に占める外部委託費の割合。外部委託に依存しすぎているかを評価する。
◆利用者1人当たりの管理運営コスト(円)	支出／延利用者数	利用者1人当たりに対する管理運営コストが適正であるかを確認する。前年度との比較、類似施設との比較などにより効率性を評価する。
◆利用者1人当たりの市負担コスト(円)	市の支出／延利用者数	利用者1人当たりに対する市負担コストが適正であるかを確認する。前年度との比較、類似施設との比較などにより効率性を評価する。
◆施設1㎡当たりの利用者数(人)	延利用者数／延床面積	施設1㎡当たりの利用者数を確認する。利用者に対して施設の大きさが適当か、類似施設との比較により効率性を評価する。

※過去の実績や類似施設と比較して評価する(優良:A、良好:B、問題有:C、要改善:D)

●評価の判定基準

① 一次評価	A(優 良)= 協定書、仕様書等の内容を遵守し、定めた水準よりも優れている B(良 好)= 協定書、仕様書等の内容を遵守し、定めた水準に達している C(課題有)= 協定書、仕様書等の内容を遵守しているが、一部課題がある D(要改善)= 協定書、仕様書等の内容を遵守しておらず、早急な改善が必要である
② 総 括	A(優 良)= 一次評価がすべてB以上であり、かつAが半数以上である B(良 好)= 一次評価がすべてC以上であり、かつABが半数以上である C(課題有)= 一次評価がすべてC以上であり、かつABが半数未満である D(要改善)= 一次評価にDが含まれている
③ 総合評価	A(優 良)= 総括がすべてB以上であり、かつAが半数以上である B(良 好)= 総括がすべてB以上であり、かつAが半数未満である C(課題有)= 総括がすべてC以上であり、かつCが含まれている D(要改善)= 総括にDが含まれている

指定管理者管理運営状況調書

1. 指定管理者・施設の基本情報

令和8年6月8日

指定管理者名	可茂森林組合	担当課	農林課
指定期間	令和3年4月1日から令和8年3月31日	選定方法	公募・非公募(任意指定)
施設名	みのかも健康の森	施設の種類	森林公園
所在地	美濃加茂市山之上町 7559 番地		
設置根拠条例等	美濃加茂市森林公園の設置及び管理に関する条例		
設置目的・役割	・保健、保全機能の発揮される森林の整備 ・市民の自然保護意識の高揚及び教育文化の向上		
実施事業	みのかも健康の森の運営、管理		

2. 施設の概要

土地	敷地面積	2,092,096.84 m ²			駐車場 台数	約 269 台		
	内借地面積	2,049,042.8 m ²	契約期間	30 年		借地料	950,000 円	
建物	設置形態	市所有 賃貸借	契約期間			賃借料		
	建物の内容	管理棟、バーベキュー広場、777 階段、ファミリーゴルフ場、アスレチック 等						
	主要な建物の 建築年月	平成 6 年 3 月			取得 時期			
	延床面積	1,067.81 m ²		構造	S 造		階数	1 階
	耐震基準	新耐震基準	耐震 診断	不要	耐震 補強	不要	Is値	
	ユニバーサル デザイン化 状況	実施 一部実施 未実施	エレベーター	スロープ	自動ドア	手すり	障がい者 用トイレ	その他
			有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	
	大規模修繕 実施状況							
留意事項								

3. 管理・運営の現況

開館日数	306 日	休館日	毎週水曜日	開館時間	9:00～17:00 10 月～3 月は 16:00 まで
職員数等 管理体制	統括責任者(受付兼務)1 人、企画・庶務会計担当者(受付兼務)1 人、営繕担当者 7 人(3 人／日体制)、食堂・調理担当者2人、臨時職員2人(繁忙期のみ) 合計13人				

4. 施設の維持管理コスト等

市の 収 支 状 況	(単位:千円)		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
	支 出	支出合計	31,804	24,550	27,421	21,812	37,242
		人件費	0	0	0	0	0
		修繕料・工事請負費	15,884	8,167	11,086	6,294	15,645
		光熱水費	0	0	0	0	0
		委託費・指定管理料	14,474	14,976	15,016	14,407	20,202
		賃借料	950	950	950	950	950
		その他	496	496	369	161	444
	収 入	収入合計	0	0	0	0	0
		使用料・手数料					
		その他業務収益					
		業務関連収益					
指定 管 理 者 の 収 支 状 況	(単位:千円)		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
	支 出	支出総合計(a+b)	25,586	28,062	27,372	28,015	29,549
		支出合計(a)	23,060	25,782	24,727	25,077	26,649
		人件費	17,031	18,810	18,795	18,243	14,187
		事業費	3,857	4,092	3,635	4,409	1,908
		維持補修費	31	250	35	77	30
		光熱水費	2,001	2,490	2,122	2,208	1,263
		保守点検等委託費	140	140	140	140	417
		その他	0	0	0	0	0
		自主事業支出(b)	2,526	2,280	2,645	2,938	11,743
	収 入	収入総合計(c+d)	22,418	24,226	25,683	25,927	27,186
		収入合計(c)	15,787	16,832	17,436	16,766	17,750
		指定管理料	13,352	13,352	13,352	13,351	14,450
		利用料金	1,738	3,377	3,767	3,187	3,300
		その他	697	103	317	228	0
		自主事業収入(d)	6,631	7,394	8,247	9,161	9,437

5. 施設の利用状況

		令和 3 年度		令和 4 年度		令和 5 年度		令和 6 年度		令和 7 年度	
開館日数		306		307		308		307		306	
森の家利用日数		13		32		19		19		65	
教育機関等利用者数		112		525		597		622		259	
入園者数		49,230		67,480		68,310		79,043		71,049	
部 屋 別 稼 働	名称	森の家				平日	%		土日祝	%	
	午前	%		午後	%		夜間	%		計	21.2%
	名称					平日	%		土日祝	%	
	午前	%		午後	%		夜間	%		計	%
	名称					平日	%		土日祝	%	

率	午前	%	午後	%	夜間	%	計	%
---	----	---	----	---	----	---	---	---

6. 事業の実施状況

事業の実施状況	事業名	花飾り教室	利用者数等	下記記載
	事業内容	季節の花を使った寄せ植え作り 4月10日(15人)、6月5日(14人)、10月9日(12人)、12月11日(12人)		
	事業名	企業連携事業	利用者数等	下部記載
	事業内容	【豊田合成】 4月19日 里山整備 61人、9月20日 里山整備 50人、10月11日 里山整備 50人、10月25日 里山整備 70人、11月1日 里山整備 32人、3月14日 里山整備 60人 【中部国際医療センター】 企業連携した森林活動(富士山登山) 5月23日 中部国際医療センター森林(110人)		
	事業名	ツキイチ自然観察会	利用者数等	下部記載
	事業内容	園内の自然観察 5月25日(15人)、6月22日(8人)、7月27日(7人)、9月28日(13人)、10月26日(7人)、1月25日(14人)、2月22日(13人)、3月22日(12人)		
	事業名	各種自主事業	利用者数等	下部記載
	事業内容	さとやまキッチンでの食堂運営および薪の販売等を実施 3月1日みそ作り(7人) 3月22日モルック大会(28人)		
	事業名	各種マルシェ	利用者数等	下部記載
	事業内容	4月27日つみきマーケット・キッズフリマ(1,390人) 5月18日森のあずマルシェ(1,800人) 11月30日森のあずマルシェ(2,400人)		
	事業名	木工教室	利用者数等	下部記載
	事業内容	6月28日(9人)、8月9日(6人)、10月18日(6人)、12月6日(4人)、3月7日(12人)		
特記事項		あじさい写真コンクール 6月13日～7月13日 みのかも市民まつり出展(へばご飯販売) 11月8日～9日 年末年始特別開園(150人以上) 1月1日		

7. 指定管理者制度導入・更新前後の比較

項目	結果・詳細
サービス面	衛生面に関する対応(食中毒・感染症等の対策の実施、安全衛生会議、食品衛生責任者講習・腸内細菌検査)を確実に行之、安全・安心なサービスを提供している。 園内の確実な維持管理を行う事により、森林環境や園内設備を活用した行事を開催していた。 園内にて来園者に利用満足度アンケートを取り、利用者の快適性向上等の措置を講じている。

コスト面	園全体の収支は赤字であった。主に人件費の増加に起因する。その中で、事業費等の支出を抑え、新規イベント(モルック大会)開催等の企画を立案し、収入面は例年と同等である。また、市内の幼稚園等への企画提案等を行い、来園者増加による収入増に取り組む姿勢が見受けられた。
利用者数・稼働率	前年度の上半期と比較し、来園者数は 8,000 人程度減となった。主に、マルシェ等のイベントへの来園者減少、夏季、冬季の天候状況による外的要因、下半期の来園者促進の新規企画の未実施が要因に挙げられる。 森の家を、利用者の熱中者対策として、クールスポットとして夏季に解禁しているため、利用率を上がっている。
事業実施状況	入園者数は減となっているが、バーベキュー利用状況、食堂売上は前年度と比較し増加している。地道なSNS広報活動を実施している事により、利用者が増えた。
地域との協働等	継続的に実施しているイベントに加え、新たなイベントを開催した。 地域の美化活動(園内付近の県道沿いの除草など)を実施している。
その他	来園者増加に向け、SNS を活用した広報活動、園内で採れた季節特有の食材を活かした商品の提供等を行う事による、自主財源増の取り組みが行われている。